

研究・調査報告書

報告書番号	担当
15	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
<p>Significant relationship between lifetime alcohol use disorders and suicide attempts in an Australian schizophrenia sample オーストラリア人の統合失調症の集団における生涯アルコール使用障害と自殺企図の有意な関連</p>	
執筆者	
Aust NZ	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Psychiatry. 2012 Feb;46(2):132-40.	
キーワード	
自殺、自殺企図、統合失調症、アルコール依存症	
要 旨	
<p>目的： 自殺と自殺企図は統合失調症の人で一般的であり、薬物使用障害と自殺傾向の関連についてエビデンスが存在する。しかしながら、アルコールについては一致した関係が示されていない。我々は薬物使用障害と自殺企図の関連を統合失調症患者で検討した。</p> <p>方法： 遺伝子解析を目的としたオーストラリアでの研究から 821 名の統合失調症患者を集めた。我々は人口統計学的変数と薬物使用障害および彼らの自殺企図の関連を含む臨床的変数を一般化方程式モデル使って解析した。</p> <p>結果： 潜在的交絡を調整後、有意な関連が生涯アルコール乱用/依存と自殺企図との間で同定された (オッズ比=1.657、95%CI、1.226-2.240、p=0.001)。また、複数回の自殺企図とも有意に関連した (2.120、1.462-3.074、p<0.001)。男性よりも女性で複数回の自殺企図のリスクが高かった (1.279、1.051-1.556、p=0.013)。しかしながら、大麻乱用/依存と自殺企図、および他の違法ドラッグ乱用/依存と自殺企図の間には有意な関連は観察されなかった。多剤乱用、各種薬物の依存症もまた関係なかった。</p> <p>結論： 以上の結果から、統合失調症の人で、アルコール乱用/依存の存在は、併用している薬物乱用/依存に独立して自殺企図のリスク要因であるかもしれないことが示唆された。</p>	